

はじめに

1. 愛知県では、製造業を中心とした県内鉱工業の動向を総合的に把握するための基礎資料として、「経済産業省生産動態統計調査」の本県分の調査結果をもとに、愛知県鉱工業指数を作成し、「あいちの鉱工業(速報)」、「あいちの生産動態(確報)」として毎月公表しております。
2. 平成19年あいちの鉱工業(年報)は、これらをもとにして、平成19年における年間の鉱工業指数の動向や主要調査品目の生産数量などについての詳細な分類により、その結果を取りまとめたものです。
3. 愛知県鉱工業指数は、産業構造の変化等を反映するため5年ごとに基準改定をしており、昨年11月に平成17年を新たな基準年次としました。
4. 本資料が本県における鉱工業の現状や各種経済活動の分析に関する基礎資料として、各方面において幅広く御活用いただければ幸いです。
5. 本資料の作成にあたり、多くの御協力をいただきました事業所や企業の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層の御協力をいただきますようお願い申し上げます。

1 平成19年の概況

生産指数

- 生産指数は111.3で、前年比3.9%上昇しました。
- 業種別でみると、上昇したのは、輸送機械工業が119.4(前年比7.8%)、電子部品・デバイス工業が118.8(前年比6.6%)、プラスチック製品工業が107.5(前年比2.8%)など13業種でした。
- 低下したのは、一般機械工業101.9(前年比△2.6%)、家具工業が95.1(前年比△6.9%)、木材・木製品工業が90.0(前年比△15.4%)など9業種でした。

生産者出荷指数

- 生産者出荷指数は112.3で、前年比4.5%上昇しました。
- 業種別でみると、上昇したのは、輸送機械工業が119.7(前年比7.5%)、情報通信機械工業が125.6(前年比9.9%)、プラスチック製品工業が109.7(前年比4.8%)など12業種でした。

- 低下したのは、一般機械工業が 101.6(前年比△2.6%)、家具工業が 89.0(前年比△10.7%)、金属製品工業が 98.9(前年比△1.8%)など 10 業種でした。

生産者在庫指数

- 生産者製品在庫指数は 102.6 で、前年比 5.2%低下しました。
- 業種別でみると、上昇したのは、一般機械工業が 119.3(前年比 10.2%)、情報通信機械工業が 93.6(前年比 18.6%)、電子部品・デバイス工業が 88.1(前年比 41.4%)など 8 業種でした。
- 低下したのは、鉄鋼業が 100.6(前年比△20.3%)、電気機械工業が 58.7(前年比△42.5%)、輸送機械工業が 123.3(前年比△5.2%)など 12 業種でした。
- ゴム製品工業は、横ばいでした。

生産者在庫率指数

- 生産者製品在庫率指数は 104.6 で、前年比 1.6%上昇しました。
- 業種別でみると、上昇したのは、一般機械工業が 113.9(前年比 13.1%)、情報通信機械工業が 121.2(前年比 25.9%)、電子部品・デバイス工業が 98.9(前年比 73.2%)など 12 業種でした。
- 低下したのは、鉄鋼業が 103.2(前年比△8.9%)、輸送機械工業が 106.6(前年比△4.7%)、石油・石炭製品工業が 105.0(前年比△7.9%)など 9 業種でした。

図1 愛知県鉱工業指数の推移

図1-1 年別 原指数

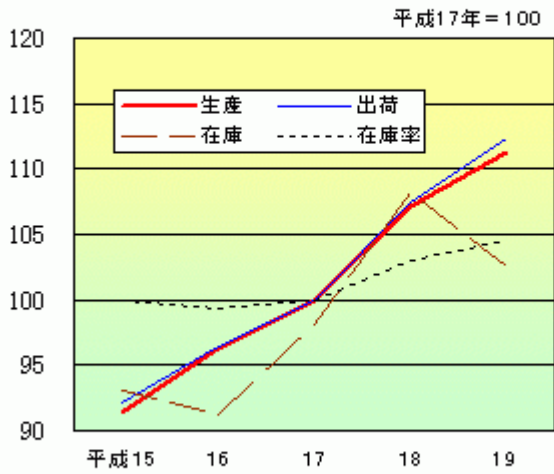


図1-2 四半期別 季節調整済指数

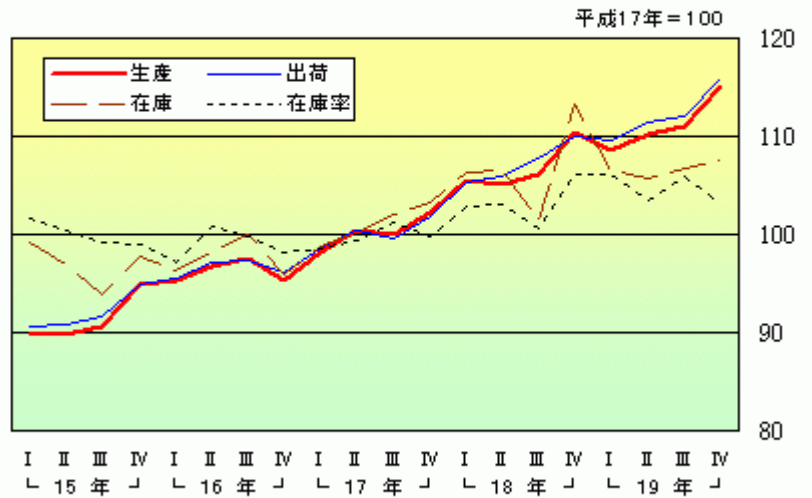


表1 愛知県鉱工業指数年・期別指数の推移（平成17年＝100）

	平成19年	平成19年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	111.3	108.5	110.2	111.0	115.2
前年比・前期比	3.9	△1.8	1.6	0.7	3.8
出荷指数	112.3	109.6	111.4	112.1	116.0
前年比・前期比	4.5	△0.4	1.6	0.6	3.5
在庫指数	102.6	106.6	105.7	106.7	107.6
前年比・前期比	△5.2	△5.8	△0.8	0.9	0.8
在庫率指数	104.6	106.1	103.5	105.9	103.0
前年比・前期比	1.6	△0.1	△2.5	2.3	△2.7
	平成18年	平成18年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	107.1	105.6	105.2	106.2	110.5
前年比・前期比	7.1	3.3	△0.4	1.0	4.0
出荷指数	107.5	105.3	106.0	107.8	110.0
前年比・前期比	7.5	3.3	0.7	1.7	2.0
在庫指数	108.2	106.3	106.5	101.4	113.2
前年比・前期比	10.3	3.0	0.2	△4.8	11.6
在庫率指数	103.0	102.8	103.0	100.7	106.2
前年比・前期比	3.0	3.0	0.2	△2.2	5.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(参考) 全国及び中部地域の鉱工業指数

全国

図2 全国の鉱工業指数の推移

図2-1 年別原指数

図2-2 四半期別季節調整済指数

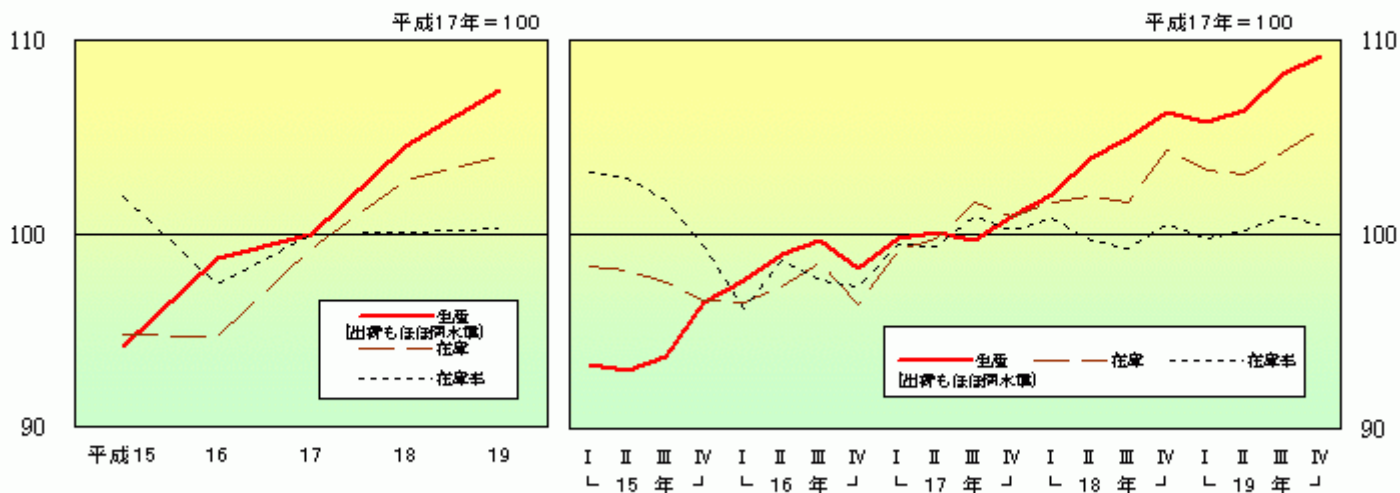


表2 全国の年・期別鉱工業指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	107.4	105.8	106.4	108.2	109.2
前年比・前期比	2.8	△0.5	0.6	1.7	0.9
出荷指数	107.8	105.9	107.0	108.4	109.9
前年比・前期比	3.1	0.0	1.0	1.3	1.4
在庫指数	104.0	103.3	103.1	104.2	105.5
前年比・前期比	1.3	△1.0	△0.2	1.1	1.2
在庫率指数	100.3	99.8	100.2	100.9	100.5
前年比・前期比	0.2	△0.7	0.4	0.7	△0.4
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月

生産指数	104.5	102.1	103.9	105.0	106.3
前年比・前期比	4.5	1.2	1.8	1.1	1.2
出荷指数	104.6	102.6	104.4	105.0	105.9
前年比・前期比	4.6	1.1	1.8	0.6	0.9
在庫指数	102.7	101.6	102.0	101.7	104.3
前年比・前期比	3.5	0.7	0.4	△0.3	2.6
在庫率指数	100.1	100.8	99.7	99.3	100.5
前年比・前期比	0.1	0.6	△1.1	△0.4	1.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

資料 経済産業省による。

⇒ 経済産業省 統計のページへ <http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

中部地域

図3 中部地域の鋳工業指数の推移

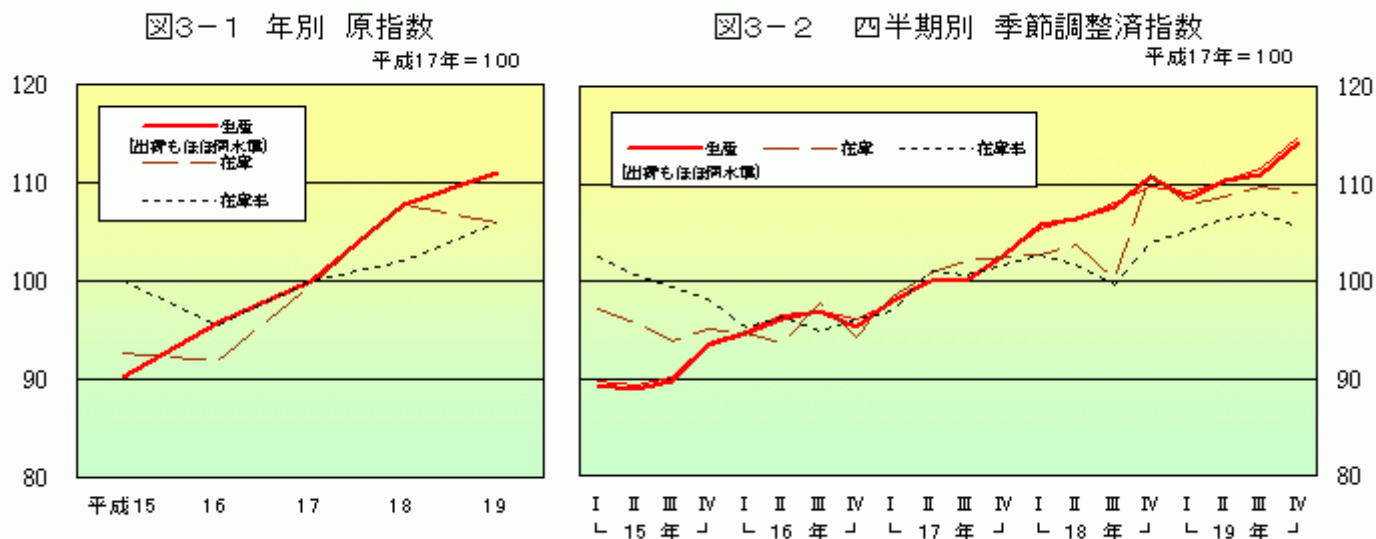


表3 中部地域の年・期別鋳工業指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	111.0	108.4	110.3	111.0	114.2
前年比・前期比	3.1	△2.1	1.8	0.6	2.9
出荷指数	111.5	109.0	110.4	111.6	114.8
前年比・前期比	3.7	△0.5	1.3	1.1	2.9

在庫指数	106.0	107.9	108.7	109.7	109.1
前年比・前期比	△1.6	△2.7	0.7	0.9	△0.5
在庫率指数	106.0	105.2	106.4	107.1	105.5
前年比・前期比	3.9	1.2	1.1	0.7	△1.5
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	107.0	105.7	106.3	107.7	110.7
前年比・前期比	7.7	2.9	0.6	1.3	2.8
出荷指数	107.5	105.3	106.4	108.1	109.6
前年比・前期比	7.5	2.6	1.0	1.6	1.4
在庫指数	107.7	102.6	103.7	100.2	110.9
前年比・前期比	8.1	0.1	1.1	△3.4	10.7
在庫率指数	102.0	102.7	101.7	99.5	104.0
前年比・前期比	2.0	1.1	△1.0	△2.2	4.5

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

注 3 「中部地域」とは、富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県です。

資料 中部経済産業局による。

⇒ 中部経済産業局 主要経済指標のページへ <http://www.chubu.meti.go.jp/tyosa/iip.htm>

業種別指数(前年比・寄与度)

表 4-1 平成 19 年 業種別の生産・出荷指数、前年比及び寄与度 (平成 17 年=100)

	生産			出荷		
	指数	前年比 (%)	寄与度 (%)	指数	前年比 (%)	寄与度 (%)
鋳工業	111.3	3.9	-	112.3	4.5	-
鉄鋼業	103.8	1.6	0.097	104.0	3.0	0.168
非鉄金属工業	105.0	0.1	0.001	104.8	0.2	0.003
金属製品工業	99.8	0.2	0.007	98.9	△ 1.8	△ 0.052
一般機械工業	101.9	△ 2.6	△ 0.304	101.6	△ 2.6	△ 0.249
電気機械工業	111.1	1.4	0.064	112.8	2.2	0.108
情報通信機械工業	136.0	3.2	0.072	125.6	9.9	0.353
電子部品・デバイス工業	118.8	6.6	0.181	116.4	2.9	0.059
輸送機械工業	119.4	7.8	3.653	119.7	7.5	3.835
精密機械工業	119.9	15.2	0.049	121.8	15.5	0.039
窯業・土石 製品工業	105.4	0.6	0.020	103.4	△ 0.8	△ 0.015

化学工業	96.0	△ 0.8	△ 0.020	102.9	1.0	0.029
石油・石炭 製品工業	105.5	15.0	0.043	104.6	9.3	0.142
プラスチック 製品工業	107.5	2.8	0.125	109.7	4.8	0.186
パルプ・紙・紙加工品工業	101.5	△ 1.4	△ 0.011	104.9	△ 0.6	△ 0.005
繊維工業	94.4	△ 3.2	△ 0.043	93.0	△ 4.0	△ 0.046
食料品工業	94.5	1.2	0.041	93.1	△ 0.4	△ 0.015
ゴム製品工業	111.8	5.1	0.084	109.9	4.0	0.052
家具工業	95.1	△ 6.9	△ 0.059	89.0	△ 10.7	△ 0.064
印刷業	94.9	△ 1.0	△ 0.011	94.9	△ 1.0	△ 0.004
木材・木製品工業	90.0	△ 15.4	△ 0.049	89.3	△ 16.3	△ 0.047
その他製品工業	100.1	△ 0.9	△ 0.001	108.5	2.5	0.003
鉱業	88.5	△ 9.3	△ 0.003	89.6	△ 8.9	△ 0.002

表 4-2 平成 19 年 業種別の在庫・在庫率指数、前年比及び寄与度（平成 17 年=100）

	在庫			在庫率		
	指数	前年比 (%)	寄与度 (%)	指数	前年比 (%)	寄与度 (%)
鉱工業	102.6	△ 5.2	-	104.6	1.6	-
鉄鋼業	100.6	△ 20.3	△ 3.964	103.2	△ 8.9	△ 1.576
非鉄金属工業	118.6	3.9	0.091	109.5	4.8	0.113
金属製品工業	74.4	△ 8.5	△ 0.354	92.5	0.7	0.029
一般機械工業	119.3	10.2	1.212	113.9	13.1	1.585
電気機械工業	58.7	△ 42.5	△ 1.055	104.1	4.8	0.049
情報通信機械工業	93.6	18.6	0.672	121.2	25.9	1.240
電子部品・デバイス工業	88.1	41.4	0.343	98.9	73.2	0.606
輸送機械工業	123.3	△ 5.2	△ 1.033	106.6	△ 4.7	△ 0.878
精密機械工業	98.7	33.4	0.010	83.0	△ 10.4	△ 0.004
窯業・土石 製品工業	103.2	△ 1.8	△ 0.156	103.2	△ 0.4	△ 0.036
化学工業	93.9	△ 2.1	△ 0.147	92.7	△ 0.9	△ 0.064
石油・石炭 製品工業	122.6	20.3	0.207	105.0	△ 7.9	△ 0.098
プラスチック 製品工業	101.7	△ 4.9	△ 0.338	97.7	0.6	0.043
パルプ・紙・紙加工品工業	95.3	△ 10.7	△ 0.041	99.9	△ 8.7	△ 0.037
繊維工業	98.1	△ 0.7	△ 0.030	108.5	5.6	0.271
食料品工業	79.1	△ 12.6	△ 0.555	103.0	1.7	0.090
ゴム製品工業	100.4	0.0	0.000	91.0	△ 1.2	△ 0.007
家具工業	91.7	△ 14.9	△ 0.161	99.9	5.0	0.052
印刷業	-	-	-	-	-	-
木材・木製品工業	105.4	13.0	0.084	125.3	24.3	0.186
その他製品工業	109.8	13.3	0.044	87.2	△ 5.9	△ 0.021
鉱業	85.0	△ 0.9	0.000	94.3	3.1	0.001

(注)「業種分類」・「寄与度」については、「[愛知県鉱工業指数及び平成 17 年基準改定について](#)」をご覧ください。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

— 生産、出荷ともに5年連続で上昇、在庫は3年ぶりに低下 —

- 生産指数は103.8で、前年に比べ1.6%上昇しました。これは、熱間圧延鋼材(前年比2.4%)、冷間仕上鋼材(前年比3.0%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は104.0で、前年に比べ3.0%上昇しました。これは、熱間圧延鋼材(前年比3.4%)、鋼管(前年比5.1%)などが上昇したためです。
- 在庫指数は100.6で、前年に比べ20.3%低下しました。これは、鉄素製品(含、鋼半製品)(前年比 Δ 34.6%)、めっき鋼材(前年比 Δ 20.1%)などが低下したためです。

図4 鉄鋼業 指数の推移

図4-1 年別 原指数

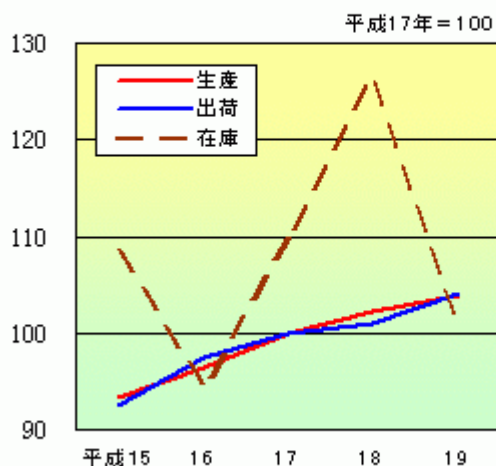


図4-2 四半期別 季節調整済指数

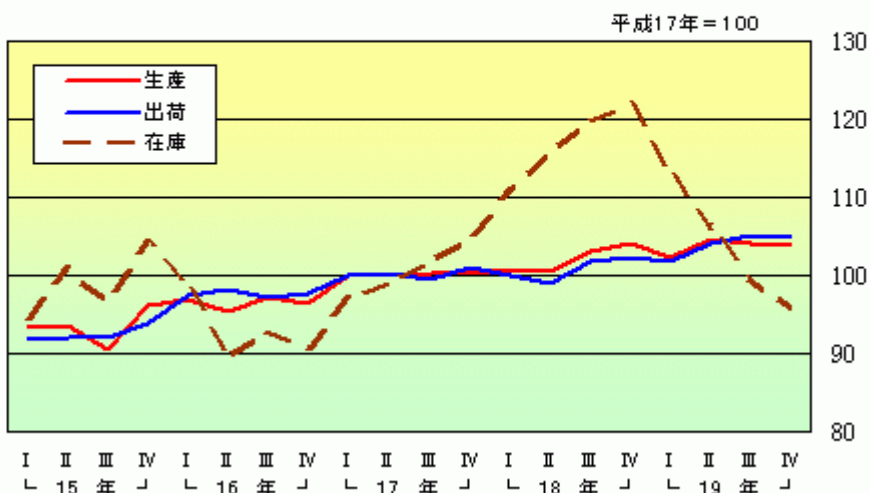


表 5 鉄鋼業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	103.8	102.4	104.5	104.2	103.9
前年比・前期比	1.6	△1.6	2.1	△0.3	△0.3
出荷指数	104.0	101.9	104.0	105.1	105.0
前年比・前期比	3.0	△0.4	2.1	1.1	△0.1
在庫指数	100.6	112.9	106.2	99.8	96.0
前年比・前期比	△20.3	△7.3	△5.9	△6.0	△3.85
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	102.2	100.8	100.4	103.2	104.1
前年比・前期比	2.2	0.6	△0.4	2.8	0.9
出荷指数	101.0	99.9	99.1	101.8	102.3
前年比・前期比	1.0	△1.1	△0.8	2.7	0.5
在庫指数	126.2	110.7	115.7	119.8	121.8
前年比・前期比	15.0	5.4	4.5	3.5	1.7

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(2) 非鉄金属工業

— 生産、出荷ともに 5 年連続で上昇、在庫も 3 年連続で上昇 —

- 生産指数は 105.0 で、前年に比べ 0.1% 上昇しました。これは、非鉄金属鋳物(前年比 1.4%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は 104.8 で、前年に比べ 0.2% 上昇しました。これは、非鉄金属鋳物(前年比 1.5%)などが上昇したためです。
- 在庫指数は 118.6 で、前年に比べ 3.9% 上昇しました。これは、伸銅・アルミニウム圧延製品(前年比 6.1%)、銅線(前年比 9.0%)が上昇したためです。

図5 非鉄金属工業 指数の推移

図5-1 年別 原指数

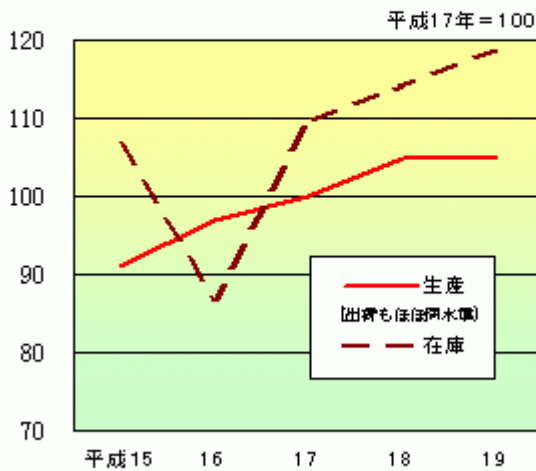


図5-2 四半期別 季節調整済指数

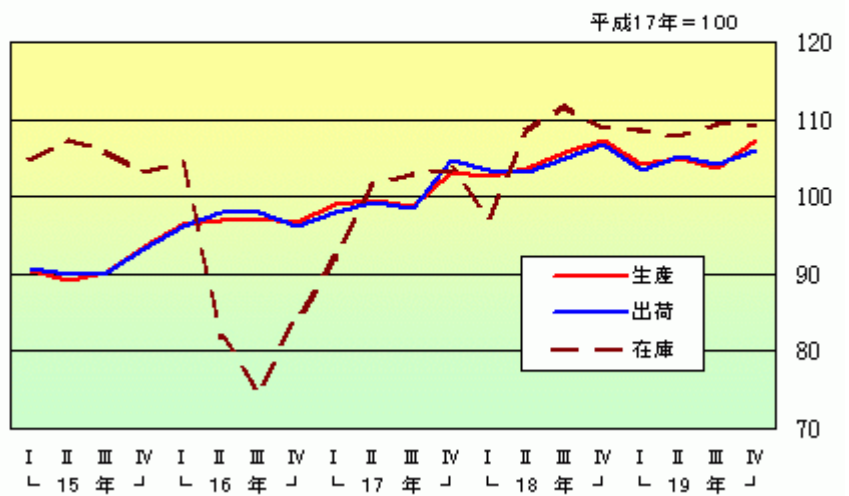


表6 非鉄金属工業 年・期別指数の推移（平成17年=100）

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	105.0	104.1	105.0	103.6	107.2
前年比・前期比	0.1	△3.0	0.9	△1.3	3.5
出荷指数	104.8	103.4	105.2	104.2	106.1
前年比・前期比	0.2	△3.1	1.7	△1.0	1.8
在庫指数	118.6	108.5	107.9	109.4	109.2
前年比・前期比	3.9	△0.4	△0.6	1.4	△0.2
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	104.9	102.7	103.8	105.8	107.3
前年比・前期比	4.9	△0.4	1.1	1.9	1.4
出荷指数	104.6	103.4	103.1	104.9	106.7
前年比・前期比	4.6	△1.2	△0.3	1.7	1.7
在庫指数	114.2	97.2	108.6	111.9	108.9
前年比・前期比	4.2	△5.9	11.7	3.0	△2.7

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(3) 金属製品工業

— 生産は2年ぶりに上昇、出荷は2年ぶりに低下、在庫は4年連続低下 —

- 生産指数は99.8で、前年に比べ0.2%上昇しました。これは、建設用金属製品(前年比7.0%)、ばね(前年比2.4%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は98.9で、前年に比べ1.8%低下しました。これは、暖ちゅう房熱機器(前年比 Δ 4.4%)、建築用金属製品(前年比 Δ 26.8%)が低下したためです。
- 在庫指数は74.4で、前年に比べ8.5%低下しました。これは、暖ちゅう房熱機器(前年比 Δ 14.7%)、建築用金属製品(前年比 Δ 39.5%)が低下したためです。

図6 金属製品工業 指数の推移

図6-1 年別 原指数

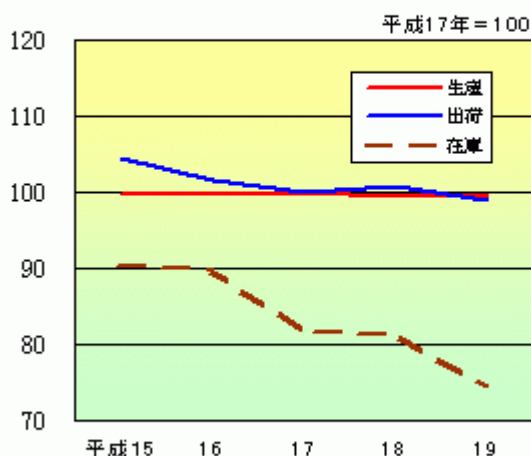


図6-2 四半期別 季節調整済指数

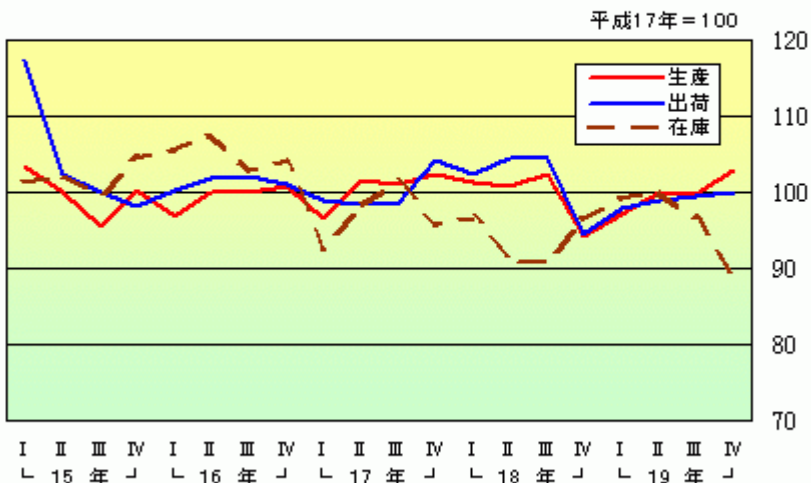


表7 金属製品工業 年・期別指数の推移（平成17年＝100）

	平成19年	平成19年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	99.8	97.0	100.1	99.8	102.9
前年比・前期比	0.2	2.9	3.2	△0.3	3.1
出荷指数	98.9	97.8	99.0	99.5	99.9
前年比・前期比	△1.8	3.6	1.2	0.5	0.4
在庫指数	74.4	99.3	100.1	96.7	88.6
前年比・前期比	△8.5	3.2	0.8	△3.4	△8.4
	平成18年	平成18年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	99.6	101.3	100.8	102.5	94.3
前年比・前期比	△0.4	△1.0	△0.5	1.7	△8.0
出荷指数	100.7	102.4	104.4	104.4	94.4
前年比・前期比	0.7	△1.6	2.0	0.0	△9.6
在庫指数	81.3	96.5	91.3	90.9	96.2
前年比・前期比	△0.7	0.6	△5.4	△0.4	5.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(4) 一般機械工業

— 生産、出荷ともに5年ぶりに低下、在庫は4年連続で上昇 —

- 生産指数は101.9で、前年に比べ2.6%低下しました。これは、運搬機械(前年比△35.5%)、金属工作機械(前年比△5.0%)などが低下したためです。
- 出荷指数は101.6で、前年に比べ2.6%低下しました。これは、運搬機械(前年比△31.0%)、金属工作機械(前年比△4.6%)などが低下したためです。
- 在庫指数は119.3で、前年に比べ10.2%上昇しました。これは、機械工具(前年比19.8%)、金属工作機械(前年比12.4%)などが上昇したためです。

図7 一般機械工業 指数の推移

図7-1 年別 原指数

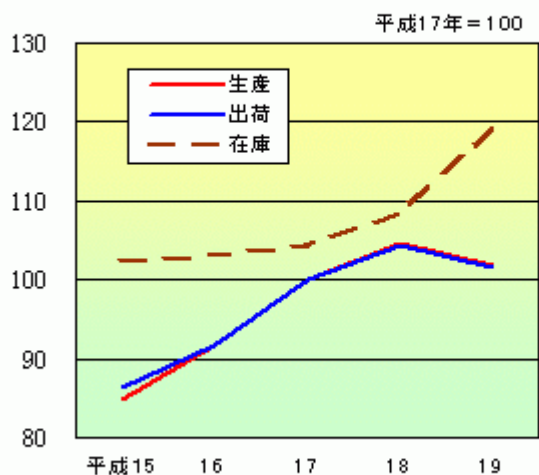


図7-2 四半期別 季節調整済指数

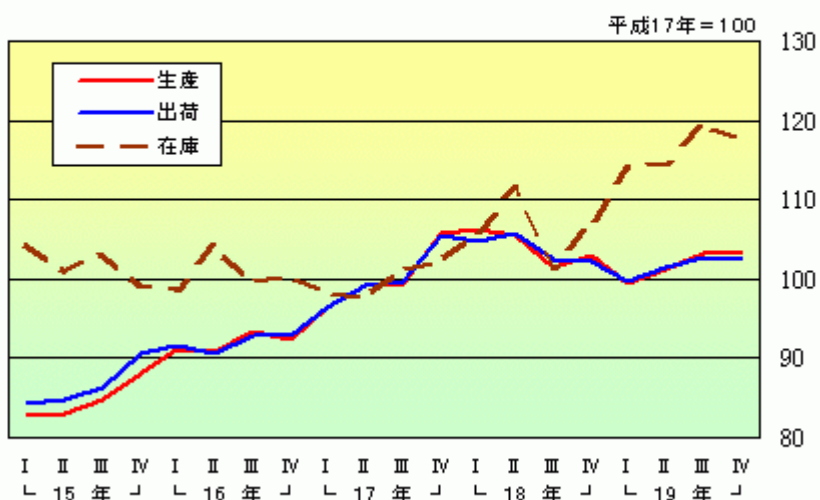


表8 一般機械工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	101.9	99.5	101.3	103.2	103.4
前年比・前期比	△2.6	△3.4	1.8	1.9	0.2
出荷指数	101.6	99.8	101.5	102.8	102.5
前年比・前期比	△2.6	△2.4	1.7	1.3	△0.3
在庫指数	119.3	113.9	114.6	119.5	117.6
前年比・前期比	10.2	6.3	0.6	4.3	△1.6
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	104.6	106.3	105.6	101.5	103.0
前年比・前期比	4.6	0.5	△0.7	△3.9	1.5
出荷指数	104.3	104.8	105.8	102.5	102.3
前年比・前期比	4.3	△0.8	1.0	△3.1	△0.2
在庫指数	108.3	106.1	111.2	101.5	107.2
前年比・前期比	3.8	3.9	4.8	△8.7	5.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

2 業種別の動向(続き)

(5) 電気機械工業

— 生産、出荷ともに4年連続で上昇、在庫は3年ぶりに低下 —

- 生産指数は111.1で、前年に比べ1.4%上昇しました。これは、開閉制御装置・機器(前年比4.4%)、内燃機関電装品(前年比3.8%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は112.8で、前年に比べ2.2%上昇しました。これは、内燃機関電装品(前年比3.8%)、開閉制御装置・機器(前年比4.4%)などが上昇したためです。
- 在庫指数は58.7で、前年に比べ42.5%低下しました。これは、民生用電気機械(前年比△43.4%)などが低下したためです。

図8 電気機械工業 指数の推移

図8-1 年別 原指数

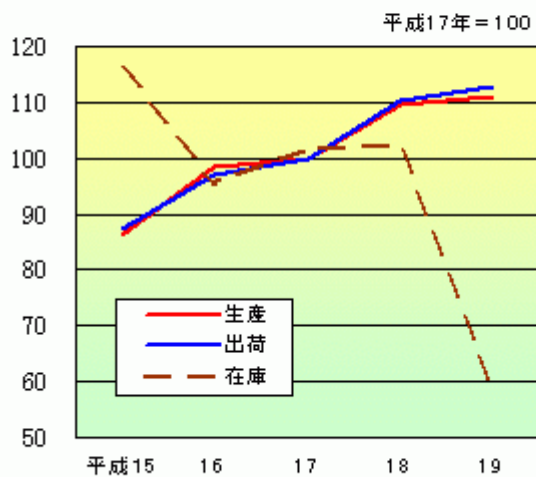


図8-2 四半期別 季節調整済指数

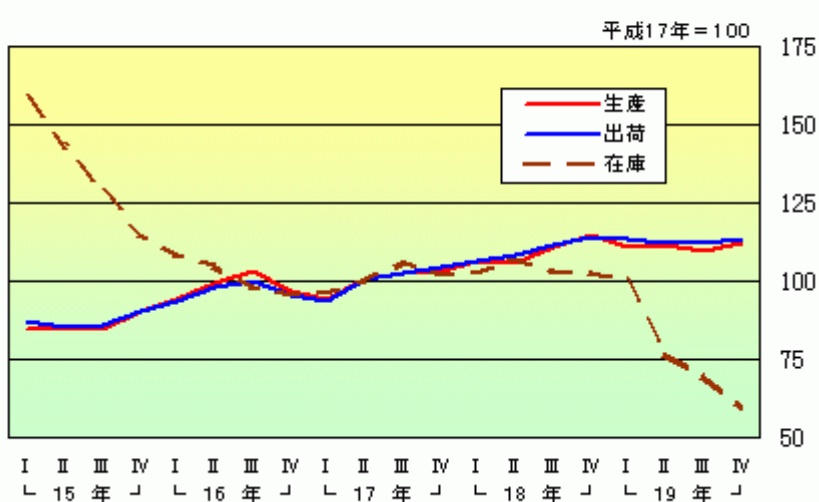


表9 電気機械工業 年・期別指数の推移（平成17年＝100）

	平成19年	平成19年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	111.1	111.1	111.6	109.7	111.9
前年比・前期比	1.4	△3.0	0.5	△1.7	2.0
出荷指数	112.8	113.2	112.4	112.1	113.6
前年比・前期比	2.2	△1.0	△0.7	△0.3	1.3
在庫指数	58.7	100.3	77.0	69.8	59.5
前年比・前期比	△42.5	△2.1	△23.2	△9.4	△14.8
	平成18年	平成18年			
		[1] 1～3月	[2] 4～6月	[3] 7～9月	[4] 10～12月
生産指数	109.6	106.3	105.9	110.7	114.5
前年比・前期比	9.6	2.7	△0.4	4.5	3.4
出荷指数	110.4	106.3	108.4	111.5	114.3
前年比・前期比	10.4	2.0	2.0	2.9	2.5
在庫指数	102.1	102.6	107.2	103.4	102.5
前年比・前期比	0.4	0.4	4.5	△3.5	△0.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(6) 情報通信機械工業

— 生産は3年連続、出荷は2年連続で上昇、在庫は3年連続で上昇 —

- 生産指数は136.0で、前年に比べ3.2%上昇しました。これは、電子計算機(前年比6.3%)、民生用電子機械(前年比2.8%)が上昇したためです。
- 出荷指数は125.6で、前年に比べ9.9%上昇しました。これは、民生用電子機械(前年比11.9%)、電子計算機(前年5.7%)などが上昇したためです。
- 在庫指数は93.6で、前年に比べ18.6%上昇しました。これは、民生用電子機械(前年比20.3%)などが上昇したためです。

図9 情報通信機械工業 指数の推移

図9-1 年別 原指数

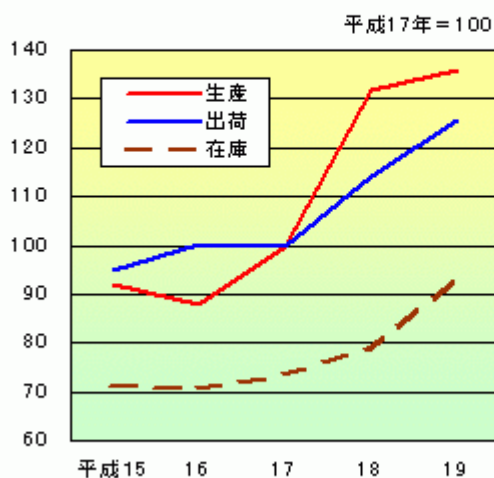


図9-2 四半期別 季節調整済指数

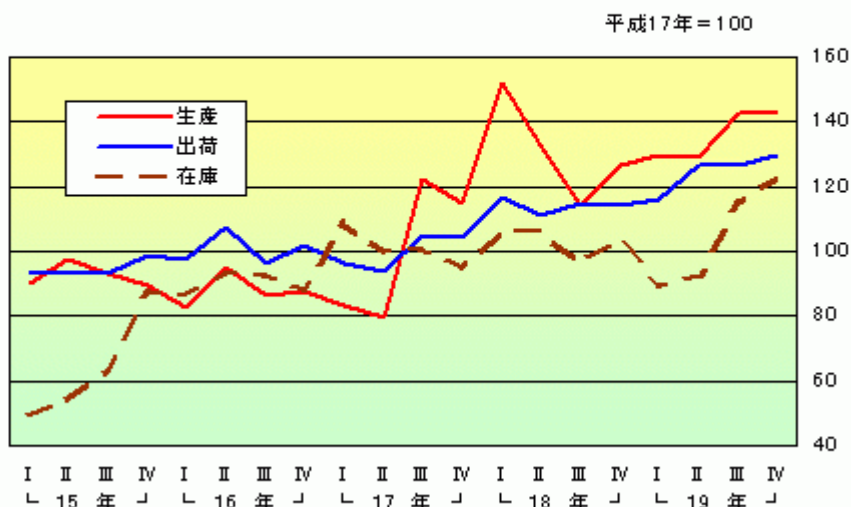


表 10 情報通信機械工業 年・期別指数の推移 (平成 17 年=100)

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	136.0	129.5	129.0	142.8	142.5
前年比・前期比	3.2	2.0	△0.4	10.7	△0.2
出荷指数	125.6	116.1	126.6	126.9	129.7
前年比・前期比	9.9	1.4	9.0	0.2	2.2
在庫指数	93.6	89.4	92.7	114.6	123.1
前年比・前期比	18.6	△13.5	3.7	23.6	7.4
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	131.8	152.2	132.7	114.5	126.9
前年比・前期比	31.8	32.3	△12.8	△13.7	10.8
出荷指数	114.3	116.7	111.2	114.7	114.5
前年比・前期比	14.3	11.7	△4.7	3.1	△0.2
在庫指数	78.9	106.2	106.4	97.2	103.3
前年比・前期比	7.2	11.6	0.2	△8.6	6.3

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(7) 電子部品・デバイス工業

— 生産は2年連続、出荷は4年連続で上昇、在庫は3年ぶりに上昇 —

- 生産指数は118.8で、前年に比べ6.6%上昇しました。これは、半導体素子・集積回路(前年比23.3%)、電子部品(前年比2.6%)が上昇したためです。
- 出荷指数は116.4で、前年に比べ2.9%上昇しました。これは、半導体素子・集積回路(前年比49.4%)などが上昇したためです。
- 在庫指数は88.1で、前年に比べ41.4%上昇しました。これは、電子部品(前年比42.2%)などが上昇したためです

図10 電子部品・デバイス工業 指数の推移

図10-1 年別 原指数

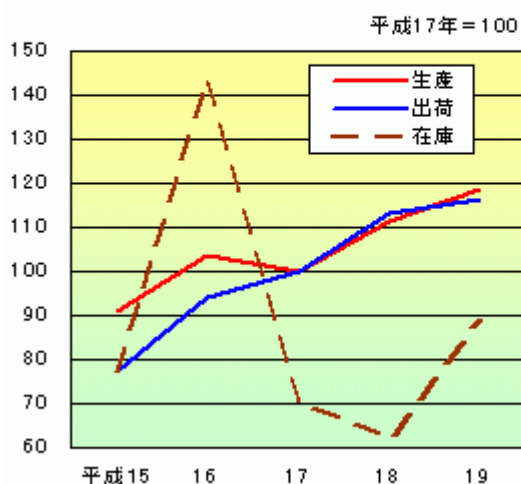


図10-2 四半期別 季節調整済指数

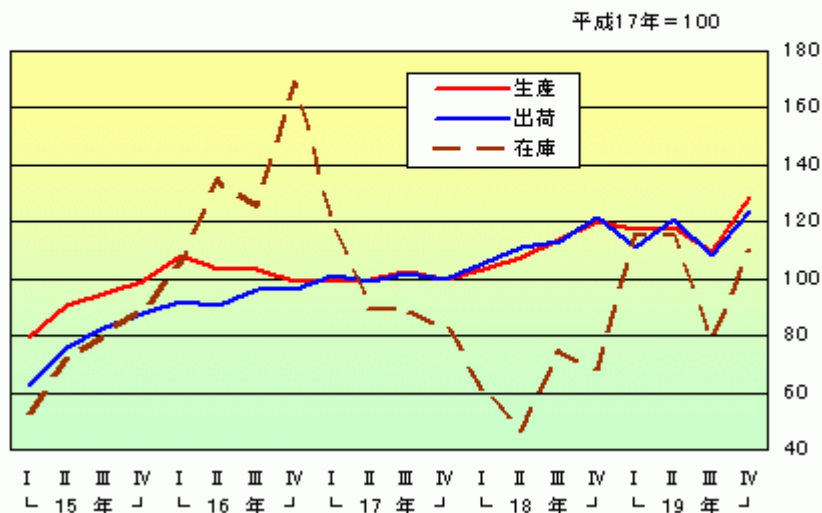


表 11 電子部品・デバイス工業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	118.8	117.7	118.37	109.3	128.4
前年比・前期比	6.6	△2.1	0.5	△7.6	17.5
出荷指数	116.4	111.2	121.1	107.9	123.8
前年比・前期比	2.9	△8.6	8.9	△10.9	14.7
在庫指数	88.1	115.6	115.1	78.5	109.9
前年比・前期比	41.4	69.5	△0.4	△31.8	40.0
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	111.4	103.6	107.5	113.7	120.2
前年比・前期比	11.4	3.7	3.8	5.8	5.7
出荷指数	113.1	105.3	110.9	113.4	121.6
前年比・前期比	13.1	5.6	5.3	2.3	7.2
在庫指数	62.3	60.7	46.7	74.8	68.2
前年比・前期比	△11.6	△26.8	△23.1	60.2	△8.8

(8) 輸送機械工業

— 生産、出荷ともに 5 年連続で上昇、在庫は 4 年ぶりに低下 —

- 生産指数は 119.4 で、前年に比べ 7.8% 上昇しました。これは、自動車部品（前年比 5.7%）、自動車（前年比 9.9%）などが上昇したためです。
- 出荷指数は 119.7 で、前年に比べ 7.5% 上昇しました。これは、自動車（前年比 8.3%）、自動車部品（前年比 5.8%）などが上昇したためです。
- 在庫指数は 123.3 で、前年に比べ 5.2% 低下しました。これは、自動車（前年比△6.7%）、自動車部品（前年比△19.2%）が低下したためです。

図11 輸送機械工業 指数の推移

図11-1 年別 原指数

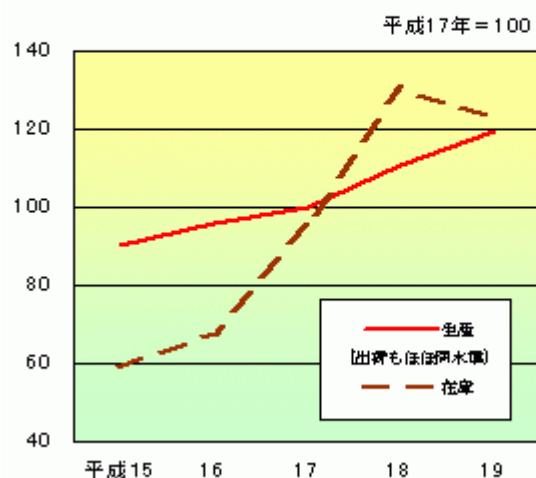


図11-2 四半期別 季節調整済指数

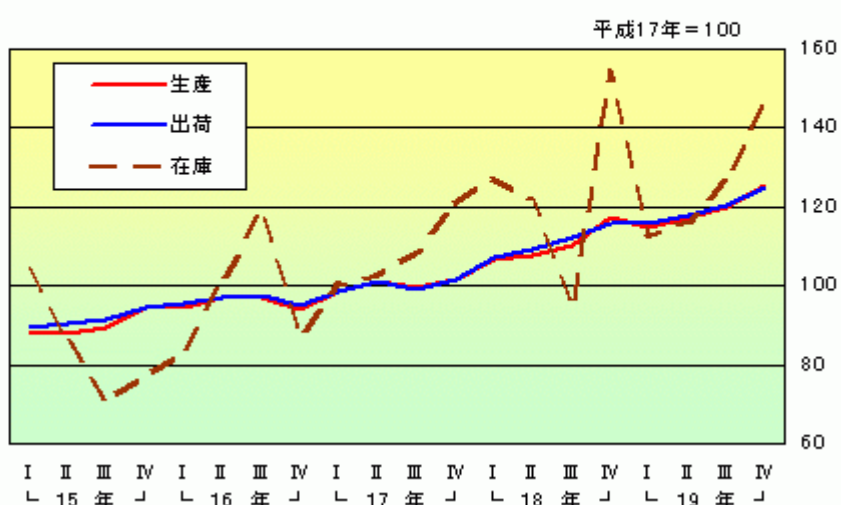


表12 輸送機械工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	119.4	114.6	117.6	119.7	125.3
前年比・前期比	7.8	△2.4	2.6	1.8	4.7
出荷指数	119.7	115.9	117.8	120.4	124.8
前年比・前期比	7.5	0.2	1.6	2.2	3.7
在庫指数	123.3	112.5	116.2	126.3	147.0
前年比・前期比	△5.2	△27.1	3.3	8.7	16.4
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	110.8	106.7	107.7	110.4	117.4
前年比・前期比	10.8	5.0	0.9	2.5	6.3
出荷指数	111.3	107.2	109.2	112.5	115.7
前年比・前期比	11.3	5.7	1.9	3.0	2.8
在庫指数	130.1	127.7	121.8	94.3	154.3
前年比・前期比	35.5	5.6	△4.6	△22.6	63.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(9) 精密機械工業

— 生産は4年連続で、出荷は2年連続で上昇、在庫は2年ぶりに上昇—

- 生産指数は119.9で、前年に比べ15.2%上昇しました。
- 出荷指数は121.8で、前年に比べ15.5%上昇しました。
- 在庫指数は98.7で、前年に比べ33.4%上昇しました。

図12 精密機械工業 指数の推移

図12-1 年別 原指数

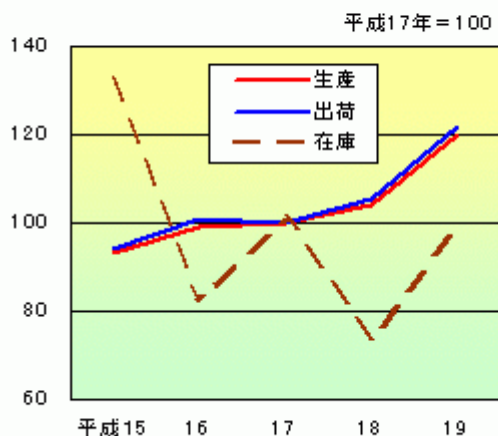


図12-2 四半期別 季節調整済指数

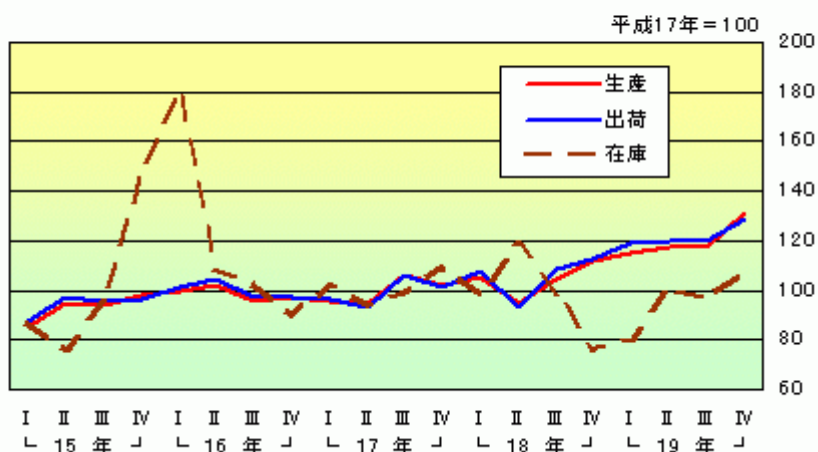


表13 精密機械工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1]	[2]	[3]	[4]
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数	119.9	115.0	117.3	117.1	131.6

前年比・前期比	15.2	3.2	2.0	△0.2	12.4
出荷指数	121.8	119.3	120.0	120.1	128.4
前年比・前期比	15.5	6.1	0.6	0.1	6.9
在庫指数	98.7	80.0	100.1	97.3	107.5
前年比・前期比	33.4	4.6	25.1	△2.8	10.5
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	104.1	105.4	94.6	104.4	111.4
前年比・前期比	4.1	3.4	△10.2	10.4	6.7
出荷指数	105.5	107.5	93.4	108.7	112.4
前年比・前期比	5.5	5.9	△13.1	16.4	3.4
在庫指数	74.0	98.8	118.3	99.0	76.5
前年比・前期比	△26.7	△10.5	19.7	△16.3	△22.7

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

2 業種別の動向(続き)

(10) 窯業・土石製品工業

— 生産は5年連続で上昇、出荷は4年ぶりに低下、在庫は3年ぶりに低下 —

- 生産指数は105.4で、前年に比べ0.6%上昇しました。これは、その他の窯業・土石製品(前年比11.5%)、フ
ァインセラミックス(前年比1.6%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は103.4で、前年に比べ0.8%低下しました。これは、ガラス・同製品(前年比 Δ 4.6%)、瓦(前年比
 Δ 8.8%)などが低下したためです。
- 在庫指数は103.2で、前年に比べ1.8%低下しました。これは、陶磁器(前年比 Δ 8.7%)、セメント製品(前年
比 Δ 12.6%)が低下したためです。

図13 窯業・土石製品工業 指数の推移

図13-1 年別 原指数

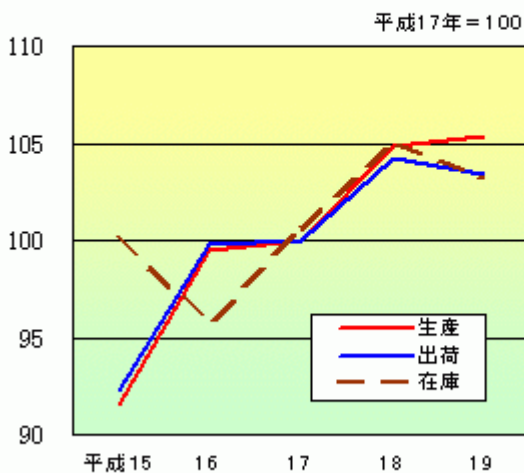


図13-2 四半期別 季節調整済指数

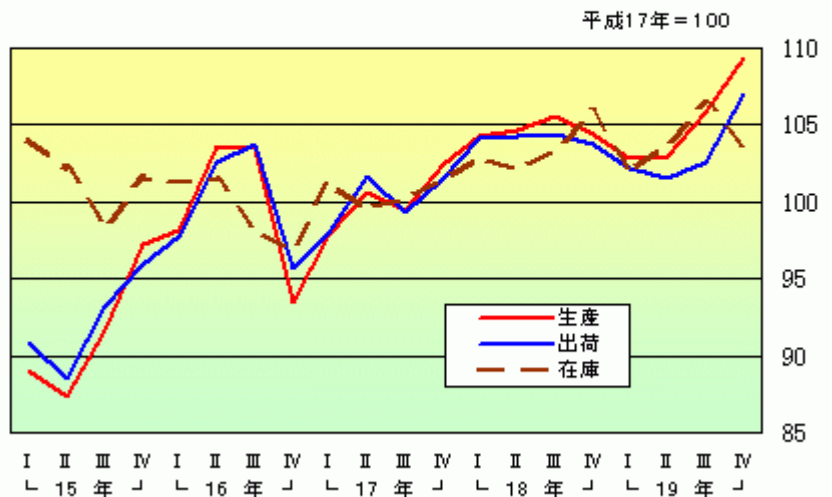


表 14 窯業・土石製品工業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	105.4	102.8	103.0	105.8	109.4
前年比・前期比	0.6	△1.5	0.2	2.7	3.4
出荷指数	103.4	102.2	101.5	102.6	107.0
前年比・前期比	△0.8	△1.5	△0.7	1.1	4.3
在庫指数	103.2	101.9	103.7	106.3	103.6
前年比・前期比	△1.8	△3.7	1.8	2.5	△2.5
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	104.8	104.3	104.6	105.6	104.4
前年比・前期比	4.8	1.9	0.3	1.0	△1.1
出荷指数	104.2	104.2	104.3	104.4	103.8
前年比・前期比	4.2	2.6	0.1	0.1	△0.6
在庫指数	105.1	102.8	102.2	103.4	105.8
前年比・前期比	4.6	1.4	△0.6	1.2	2.3

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(11) 化学工業

— 生産は 2 年連続で低下、出荷は 3 年連続で上昇、在庫は 2 年連続で低下 —

- 生産指数は 96.0 で、前年に比べ 0.8% 低下しました。これは、医薬品（前年比△6.5%）などが低下したためです。
- 出荷指数は 102.9 で、前年に比べ 1.0% 上昇しました。これは、石油系芳香族（前年比 5.7%）、などが上昇したためです。
- 在庫指数は 93.9 で、前年に比べ 2.1% 低下しました。これは、石油系芳香族（前年比△25.7%）、環式中間物（前年比△10.5%）などが低下したためです。

図14 化学工業 指数の推移

図14-1 年別 原指数

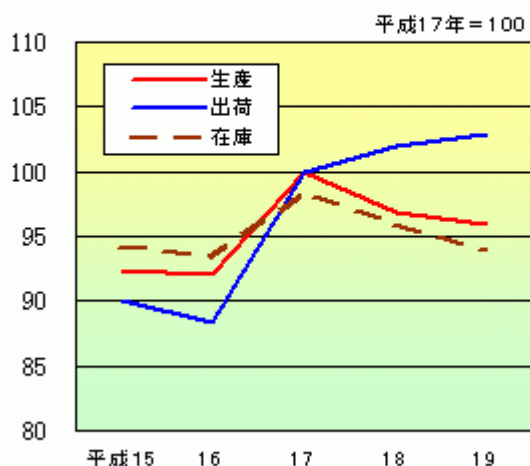


図14-2 四半期別 季節調整済指数

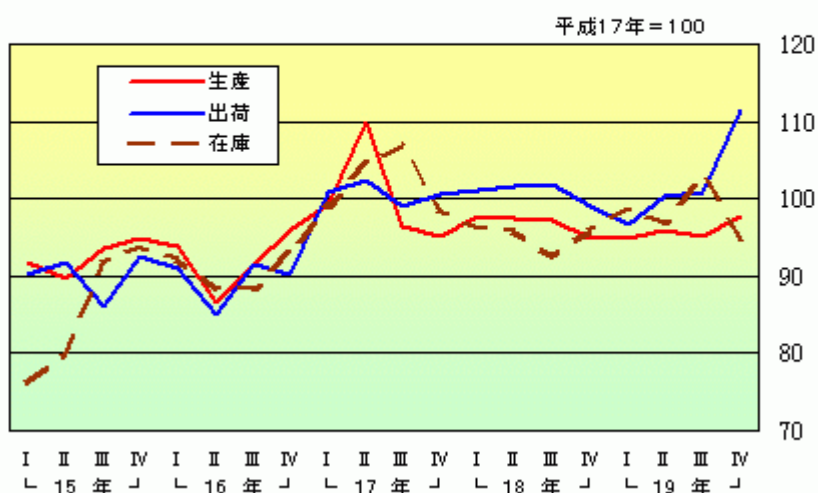


表 15 化学工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	96.0	94.8	96.0	95.1	97.8
前年比・前期比	△0.8	0.0	1.3	△0.9	2.8
出荷指数	102.9	96.8	100.4	100.8	111.4
前年比・前期比	1.0	△2.1	3.7	0.4	10.5
在庫指数	93.9	98.7	97.0	102.7	94.7
前年比・前期比	△2.1	2.9	△1.7	5.9	△7.8
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	96.8	97.8	97.5	97.2	94.8
前年比・前期比	△3.2	2.7	△0.3	△0.3	△2.5
出荷指数	101.9	101.0	101.7	101.9	98.9
前年比・前期比	1.9	0.4	0.7	0.2	△2.9
在庫指数	95.9	96.1	96.0	92.6	95.9
前年比・前期比	△2.5	△2.4	△0.1	△3.5	3.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(12) 石油・石炭製品工業

— 生産、出荷ともに3年ぶりに上昇、在庫は4年ぶりに上昇 —

- 生産指数は105.5で、前年に比べ15.0%上昇しました。
- 出荷指数は104.6で、前年に比べ9.3%上昇しました。
- 在庫指数は122.6で、前年に比べ20.3%上昇しました。

図15 石油・石炭製品工業 指数の推移

図15-1 年別 原指数

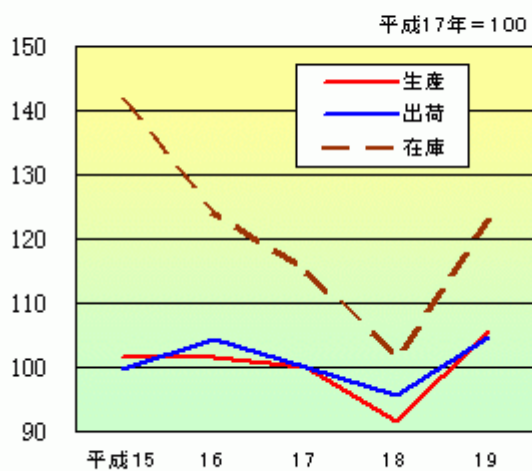


図15-2 四半期別 季節調整済指数

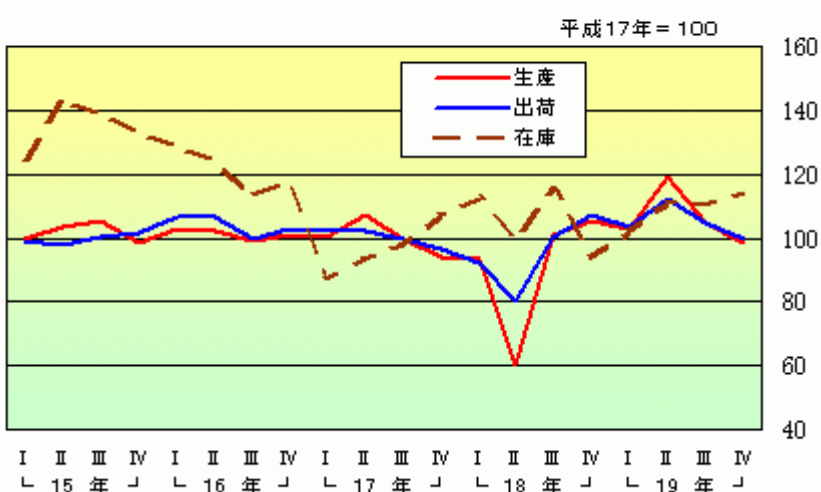


表16 石油石炭製品工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成19年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	105.5	102.8	119.2	105.0	98.2
前年比・前期比	15.0	△ 2.6	16.0	△11.9	△6.5
出荷指数	104.6	103.2	112.2	104.8	99.7
前年比・前期比	9.3	△ 3.9	8.7	△6.6	△4.9
在庫指数	122.6	102.4	111.3	110.2	114.1
前年比・前期比	20.3	9.1	8.7	△1.0	3.5
	平成18年	平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	91.7	93.3	59.8	100.7	105.5
前年比・前期比	△ 8.3	△ 1.0	△35.9	68.4	4.8
出荷指数	95.7	92.1	80.1	100.3	107.4
前年比・前期比	△ 4.3	△4.6	△ 13.0	25.2	7.1

在庫指数	101.9	112.3	100.5	114.5	93.9
前年比・前期比	△ 11.7	4.5	△10.5	13.9	△ 18.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(13) プラスチック製品工業

— 生産、出荷ともに5年連続で上昇、在庫は2年ぶりに低下 —

- 生産指数は107.5で、前年に比べ2.8%上昇しました。
- 出荷指数は109.7で、前年に比べ4.8%上昇しました。
- 在庫指数は101.7で、前年に比べ4.9%低下しました。

図16 プラスチック製品工業 指数の推移

図16-1 年別 原指数

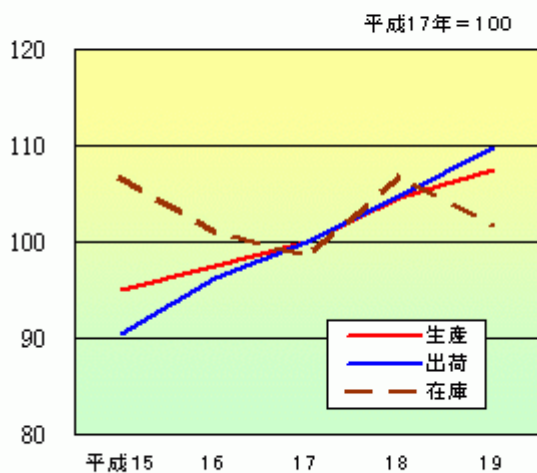


図16-2 四半期別 季節調整済指数

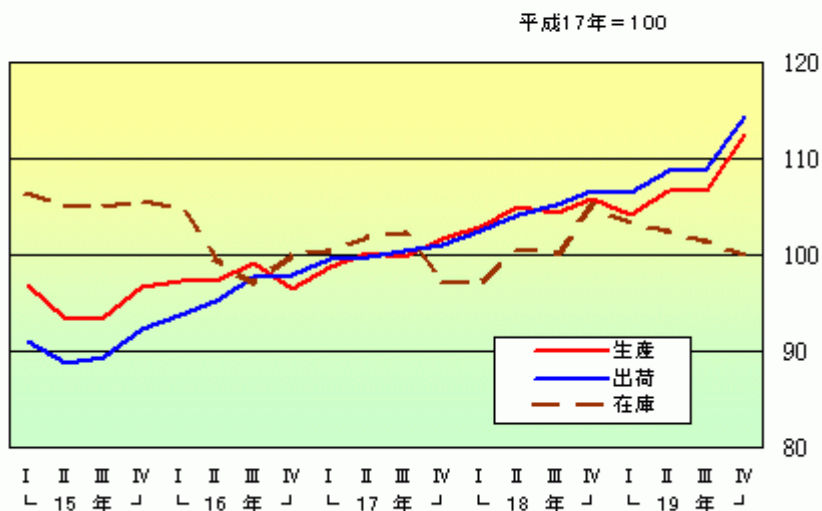


表 17 プラスチック製品工業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	107.5	104.2	106.7	106.7	112.5
前年比・前期比	2.8	△1.6	2.4	0.0	5.4
出荷指数	109.7	106.5	108.8	109.0	114.3
前年比・前期比	4.8	△0.1	2.2	0.2	4.9
在庫指数	101.7	103.3	102.5	101.5	100.1
前年比・前期比	△4.9	△1.5	△0.8	△1.0	△1.4
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	104.6	102.9	105.0	104.3	105.9
前年比・前期比	4.6	1.2	2.0	△ 0.7	1.5
出荷指数	104.7	102.5	104.1	105.2	106.6
前年比・前期比	4.7	1.5	1.6	1.1	1.3
在庫指数	106.9	97.0	100.6	100.3	104.9
前年比・前期比	8.4	△ 0.2	3.7	△0.3	4.6

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(14) パルプ・紙・紙加工品工業

— 生産、出荷ともに 4 年ぶりに低下、在庫は 3 年ぶりに低下 —

- 生産指数は 101.5 で、前年に比べ 1.4%低下しました。これは、紙(前年比△1.8%)などが低下したためです。
- 出荷指数は 104.9 で、前年に比べ 0.6%低下しました。これは、紙加工品(前年比△2.8%)などが低下したためです。
- 在庫指数は 95.3 で、前年に比べ 10.7%低下しました。これは、紙(前年比△11.3%)などが低下したためです。

図17 パルプ・紙・紙加工品工業 指数の推移

図17-1 年別 原指数

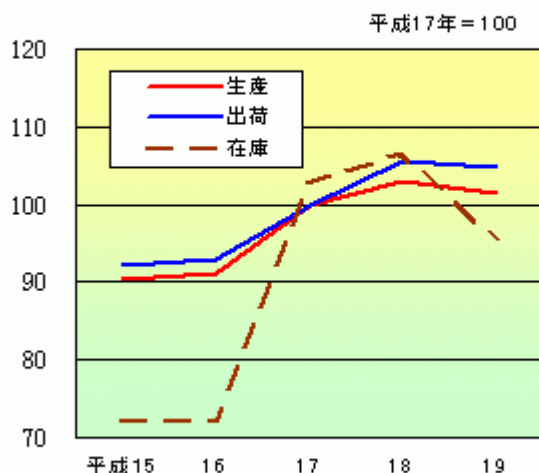


図17-2 四半期別 季節調整済指数

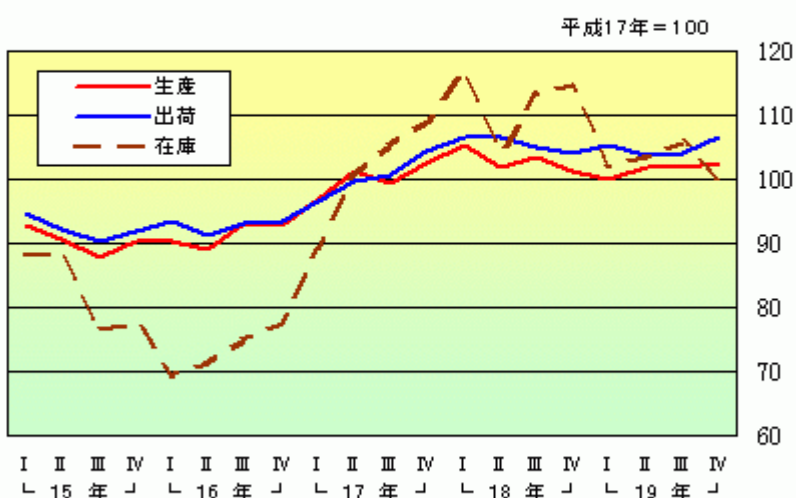


表 18 パルプ・紙・紙加工品工業 年・期別指数の推移 (平成 17 年=100)

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	101.5	100.0	101.9	101.9	102.5
前年比・前期比	△1.4	△1.2	1.9	0.0	0.6
出荷指数	104.9	105.4	103.9	104.2	106.5
前年比・前期比	△0.6	1.3	△1.4	0.3	2.2
在庫指数	95.3	102.0	103.3	105.5	99.9
前年比・前期比	△10.7	△ 11.0	1.3	2.1	△ 5.3
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	102.9	105.2	102.0	103.5	101.2
前年比・前期比	2.9	2.6	△3.0	1.5	△2.2
出荷指数	105.5	106.5	106.6	104.9	104.0
前年比・前期比	5.5	2.1	0.1	△ 1.6	△0.9
在庫指数	106.7	116.7	104.5	113.0	114.6
前年比・前期比	3.9	7.0	△10.5	8.1	1.4

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

2 業種別の動向(続き)

(15) 繊維工業

— 生産は、出荷はともに5年連続で低下、在庫は2年ぶりに低下 —

- 生産指数は94.4で、前年に比べ3.2%低下しました。これは、織物(前年比 Δ 7.1%)、染色整理(前年比 Δ 4.8%)などが低下したためです。
- 出荷指数は93.0で、前年に比べ4.0%低下しました。これは、織物(前年比 Δ 12.1%)、染色整理(前年比 Δ 4.4%)などが低下したためです。
- 在庫指数は98.1で、前年に比べ0.7%低下しました。これは、染色整理(前年比 Δ 3.2%)、織物(前年比 Δ 2.8%)などが低下したためです。

図18 繊維工業 指数の推移

図18-1 年別原指数

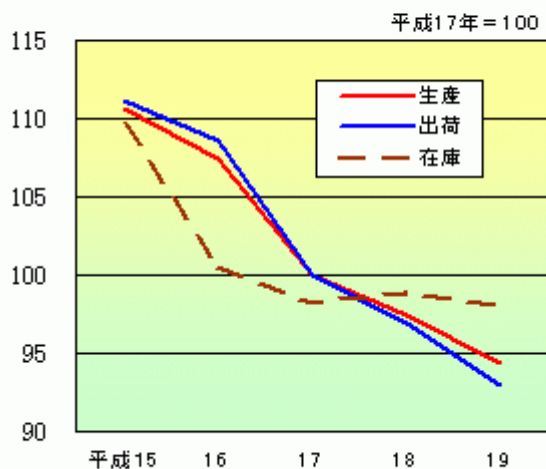


図18-2 四半期別季節調整済指数

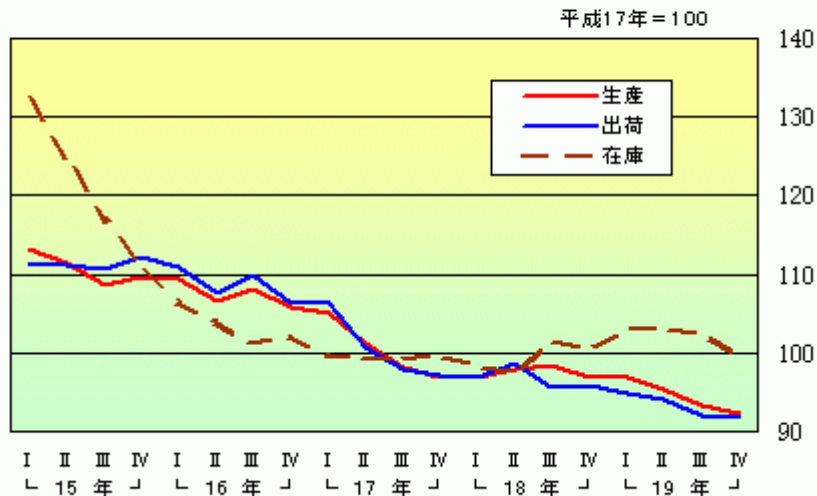


表 19 繊維工業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	94.4	96.9	95.3	93.4	92.2
前年比・前期比	△ 3.2	0.0	△1.7	△ 2.0	△ 1.3
出荷指数	93.0	94.8	94.1	92.0	91.9
前年比・前期比	△ 4.0	△1.0	△0.7	△ 2.2	△ 0.1
在庫指数	98.1	102.9	103.1	102.4	99.7
前年比・前期比	△0.7	2.4	0.2	△0.7	△ 2.6
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月
生産指数	97.5	96.9	97.9	98.3	96.9
前年比・前期比	△2.5	△0.1	1.0	0.4	△ 1.4
出荷指数	96.9	97.0	98.7	95.7	95.8
前年比・前期比	△ 3.1	△0.2	1.8	△ 3.0	0.1
在庫指数	98.8	98.4	97.3	101.6	100.5
前年比・前期比	0.6	△ 1.2	△ 1.1	4.4	△ 1.1

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(16) 食料品工業

— 生産は 2 年ぶりに上昇、出荷は 3 年連続で低下、在庫は 2 年ぶりに低下 —

- 生産指数は 94.5 で、前年に比べ 1.2% 上昇しました。これは、飲料(前年比 4.7%)、畜産食料品(前年比 2.7%)などが上昇したためです。
- 出荷指数は 93.1 で、前年に比べ 0.4% 低下しました。これは、飼料(前年比△10.8%)、その他の食料品(前年比△2.1%)などが低下したためです。
- 在庫指数は 79.1 で、前年に比べ 12.6% 低下しました。これは、飲料(前年比△25.7%)、その他の食料品(前年比△4.5%)などが低下したためです。

図19 食料品工業 指数の推移

図19-1 年別 原指数

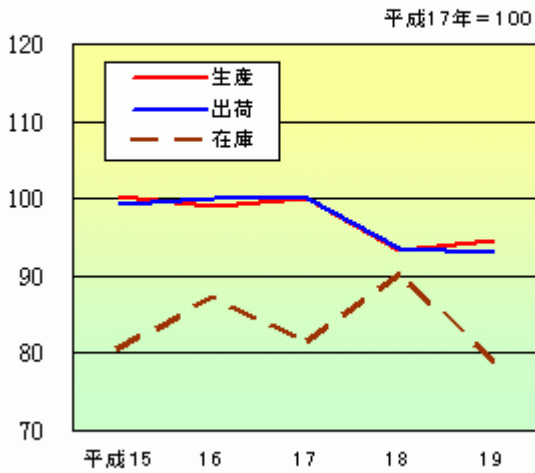


図19-2 四半期別 季節調整済指数

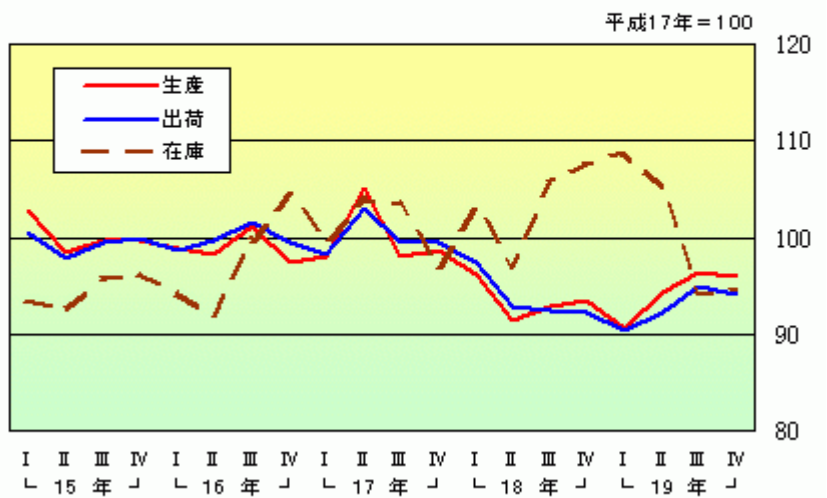


表 20 食料品工業 年・期別指数の推移 (平成17年=100)

	平成17年	平成19年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	94.5	90.5	94.4	96.4	95.9
前年比・前期比	1.2	△ 3.1	4.3	2.1	△ 0.5
出荷指数	93.1	90.3	92.3	95.0	94.1
前年比・前期比	△ 0.4	△ 2.2	2.2	2.9	△ 0.9
在庫指数	79.1	108.8	105.2	94.0	94.7
前年比・前期比	△ 12.6	1.1	△ 3.3	△ 10.6	0.7
		平成18年			
		[1] 1~3月	[2] 4~6月	[3] 7~9月	[4] 10~12月
生産指数	93.4	96.2	91.5	92.8	93.4
前年比・前期比	△ 6.6	△ 2.5	△ 4.9	1.4	0.6
出荷指数	93.5	97.5	92.9	92.5	92.3
前年比・前期比	△ 6.5	△ 1.9	△ 4.7	△ 0.4	△ 0.2
在庫指数	90.5	102.8	97.0	105.7	107.6
前年比・前期比	11.3	6.0	△ 5.6	9.0	1.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(17) その他工業

— 生産は5年ぶりに低下、出荷は3年ぶりに低下、在庫は3年連続で低下 —

- 生産指数は101.5で、前年に比べ0.9%低下しました。これは、家具工業(前年比△6.9%)、木材・木製品工業(前年比△15.4%)などが低下したためです。
- 出荷指数は100.7で、前年に比べ2.2%低下しました。これは、家具工業(前年比△10.7%)、木材・木製品工業(前年比△16.3%)などが低下したためです。
- 在庫指数は99.6で、前年に比べ1.3%低下しました。これは、家具工業(前年比△14.9%)が低下したためです。

図20 その他工業 指数の推移

図20-1 年別 原指数

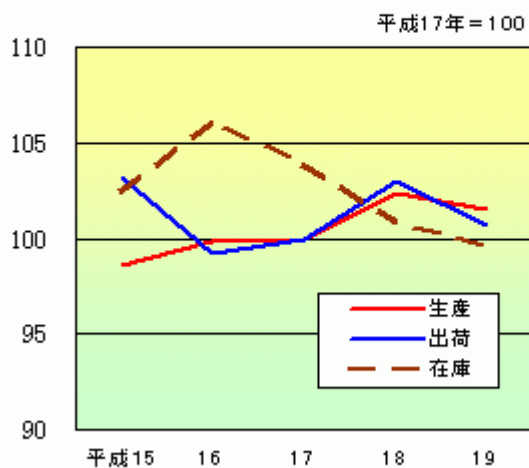


図20-2 四半期別 季節調整済指数

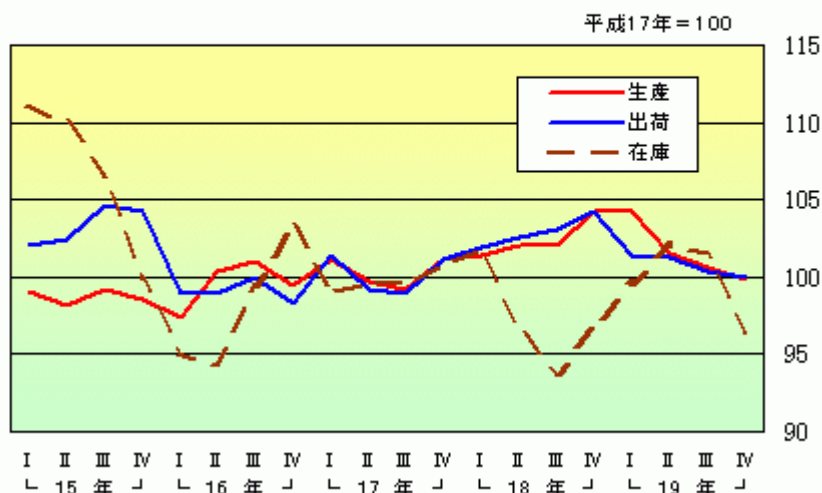


表 21 その他工業 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

	平成 19 年		平成 19 年		
		[1]	[2]	[3]	[4]
		1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月
生産指数	101.5	104.3	101.5	100.6	99.9
前年比・前期比	△0.9	0.0	△ 2.7	△0.9	△0.7
出荷指数	100.7	101.4	101.3	100.4	100.0
前年比・前期比	△2.2	△2.7	△ 0.1	△0.9	△0.4
在庫指数	99.6	99.6	102.0	101.5	96.4
前年比・前期比	△ 1.3	2.9	2.4	△0.5	△5.0
	平成 18 年		平成 18 年		
		[1]	[2]	[3]	[4]
		1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月
生産指数	102.4	101.4	102.0	102.0	104.3
前年比・前期比	2.4	0.3	0.6	0.0	2.3
出荷指数	103.0	101.9	102.6	103.1	104.2
前年比・前期比	3.0	0.8	0.7	0.5	1.1
在庫指数	100.9	101.8	96.5	93.7	96.8
前年比・前期比	△ 2.9	1.1	△5.2	△ 2.9	3.3

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(18) 鋳業

— 生産、出荷ともに 5 年連続で低下、在庫は 4 年連続で低下 —

- 生産指数は 88.5 で、前年に比べ 9.3%低下しました。
- 出荷指数は 89.6 で、前年に比べ 8.9%低下しました。
- 在庫指数は 85.0 で、前年に比べ 0.9%低下しました。

図21 鉱業 指数の推移

図21-1 年別 原指数

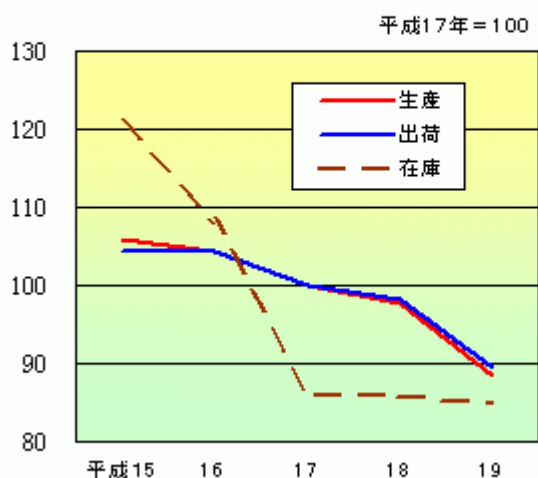


図21-2 四半期別 季節調整済指数

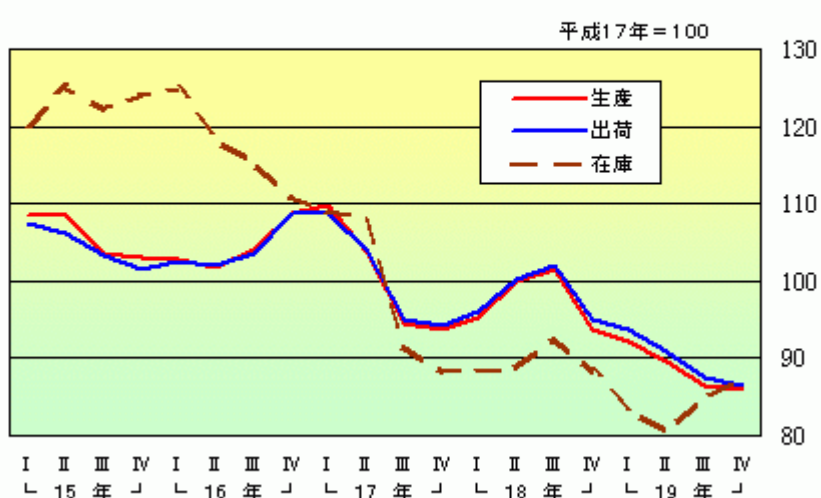


表 22 鉱業 年・期別指数の推移 (平成 17 年=100)

	平成 19 年	平成 19 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	88.5	92.1	89.6	86.4	86.0
前年比・前期比	△ 9.3	△ 1.8	△ 2.7	△ 3.6	△ 0.5
出荷指数	89.6	93.7	90.9	87.6	86.6
前年比・前期比	△ 8.9	△ 1.4	△ 3.0	△ 3.6	△ 1.1
在庫指数	85.0	83.7	80.8	84.8	87.3
前年比・前期比	△ 0.9	△ 5.1	△ 3.5	5.0	2.9
	平成 18 年	平成 18 年			
		[1] 1~3 月	[2] 4~6 月	[3] 7~9 月	[4] 10~12 月
生産指数	97.6	95.2	99.9	101.4	93.8
前年比・前期比	△ 2.4	1.5	4.9	1.5	△ 7.5
出荷指数	98.3	96.0	100.1	101.9	95.0
前年比・前期比	△ 1.7	1.9	4.3	1.8	△ 6.8
在庫指数	85.8	88.3	88.8	92.8	88.2
前年比・前期比	△ 0.2	△ 0.1	0.6	4.5	△ 5.0

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

3 特殊分類(財別)の出荷動向

生産者出荷指数は 112.3 で、前年比 4.5%上昇しました。

これを、製品の経済的用途に着目して分類した財別生産者出荷指数でみると、最終需要に向けられる最終需要財は 113.0 で前年比 5.1%、生産活動に再投入される生産財は 111.7 で前年比 3.9%となり、いずれも 4 年連続上昇しました。

最終需要財の内訳をみると、資本形成に向けられる投資財のうち、設備投資となる資本財は 104.7 で前年比 1.5%上昇、建設投資に向けられる建設財は 97.7 で前年比 4.3%低下しました。また、主として家計で消費する消費財は 118.1 で前年比 7.5%上昇しました。

図22 財別生産者出荷指数の推移

図22-1 年別 原指数

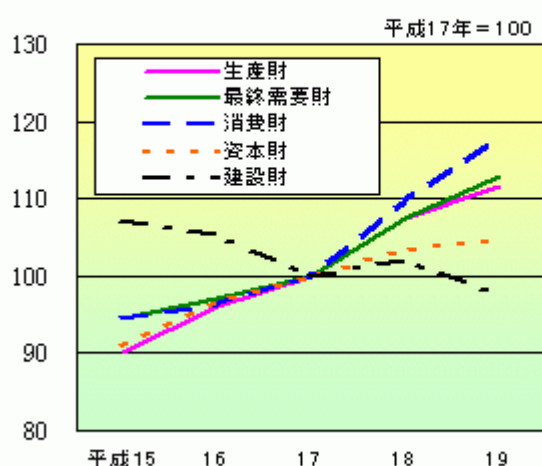


図22-2 四半期別 季節調整済指数

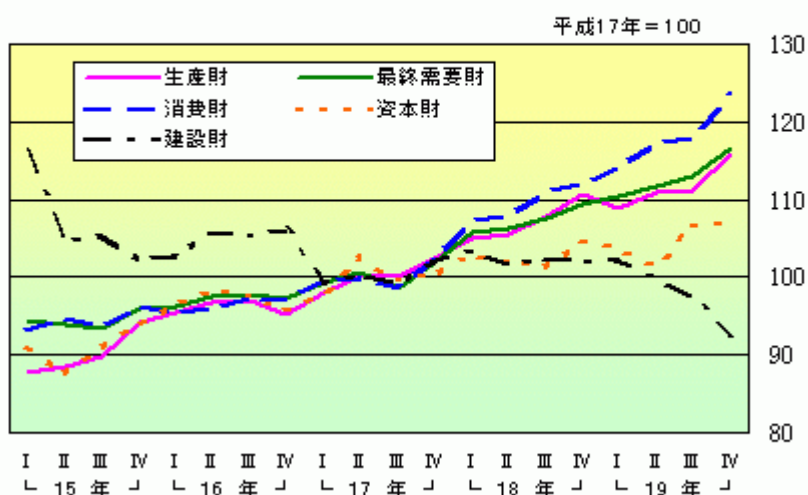


表 23 財別生産者出荷指数 年・期別指数の推移（平成 17 年＝100）

		平成 19 年	平成 19 年				
			[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月	
最終需要財	最終需要財全体	113.0	110.3	111.8	113.0	116.7	
	前年比・前期比	5.1	0.8	1.4	1.1	3.3	
	投資財	資本財	104.7	103.8	101.4	106.5	106.7
		前年比・前期比	1.5	△1.0	△ 2.3	5.0	0.2
	建設財	建設財	97.7	102.1	99.8	97.5	92.6
		前年比・前期比	△4.3	0.3	△2.3	△2.3	△ 5.0
	消費財	118.1	113.9	117.1	117.8	123.2	
	前年比・前期比	7.5	1.7	2.8	0.6	4.6	
生産財	117.1	108.8	110.8	111.3	115.7		
前年比・前期比	3.9	△1.7	1.8	0.5	4.0		
		平成 18 年	平成 18 年				
			[1] 1～3 月	[2] 4～6 月	[3] 7～9 月	[4] 10～12 月	
最終需要財	最終需要財全体	107.5	105.8	106.2	107.5	109.4	
	前年比・前期比	7.5	3.9	0.4	1.2	1.8	
	投資財	資本財	103.2	103.0	101.9	101.5	104.8
		前年比・前期比	3.2	2.7	△1.1	△ 0.4	3.3
	建設財	建設財	102.1	103.5	101.6	102.3	101.8
		前年比・前期比	2.1	1.5	△1.8	0.7	△0.5
	消費財	109.9	107.1	108.2	111.0	112.0	
	前年比・前期比	9.9	4.6	1.0	2.6	0.9	
生産財	107.5	104.9	105.6	107.9	110.7		
前年比・前期比	7.5	2.5	0.7	2.2	2.6		

注 1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注 2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。